

長期留学・海外インターンシップチャレンジ奨学金 報告書

2025年7月5日

国際経営学部国際経営学科3年

隠田優衣

はじめに

本奨学金の受給にあたり国際経営学部の教授方、事務室の方々、そして、ご支援をいただいたすべての方に感謝いたします。

私は、2024年8月から2025年5月の2学期間をアメリカ合衆国サンディエゴ州のSan Diego State Universityで交換留学生として学ぶ機会を頂きました。この報告書ではサンディエゴ州立大学での2学期間を、留学前、留学中、留学総括の3つに分けて詳述いたします。

留学前

私が留学を決意した背景には、グローバルなビジネス環境で活躍できる人になりたいという目標がありました。そして、この目標を実現するためにSan Diego State University (SDSU)に留学することを選んだ理由は、主に2つあります。

1つ目の理由は、サンディエゴ州立大学のレベルの高いビジネス教育プログラムにとっても魅力を感じたからです。SDSUはビジネスのコースで高い評価を受けており、実践的なビジネスのスキルを身につけることができる学習環境が整っていると思いました。また、ディスカッションを重視している授業が多くあるため、ディスカッションを通して異なる視点や価値観に触れることで、国際的なビジネスセンスを自然に身につけることができると思いました。

二つ目の理由は、サンディエゴ州立大学では、英語だけでなく、日常的にネイティブのスペイン語にも触れることのできる環境が整っていると思ったからです。SDSUはHispanic-Serving Institutionとして認定されており、学生の約3割がヒスパニック系という多様性に富んだキャンパスです。レベルごとに受講することのできるスペイン語のクラスが充実しているだけでなく、授業や自主学習で学んだスペイン語を即座にアウトプットすることのできる環境であるというところにとっても惹かれました。



(San Diego State University キャンパス)

留学中

○現地での学習について

<留学中に履修した科目>

BA 350 Management and Organizational Behaviour

BA 370 Marketing

BA 377 Selling Strategy and Practices

BA 376 Global Marketing Strategy

RWS 305 Writing in Various Settings

COMM 245 Interpersonal Communication

SPAN 101 Introduction to Spanish I

SPAN 102 Introduction to Spanish II

DANCE 100 Yoga for Dancers

MUSIC 111 Beginning Voice

留学期間中、私はビジネスとスペイン語を中心としたカリキュラムに取り組みながら、ライティングやコミュニケーションのクラス、さらにはヨガや音楽といった多彩な分野の授業も履修することができました。

ビジネス関連の授業では、中央大学で専攻している経営学の授業に加えて、マーケティングやセールスの分野についても深く学ぶ機会を得ました。これらの授業の特徴は、グループワークが中心となっていることでした。授業後には、クラスメイトたちと図書館に集まり、プロジェクトのアイデアを出し合ったり、プレゼンテーションの練習に取り組んだりすることも多くありました。

テスト期間になると、試験勉強に加えて課題の量も格段に増え、大変な時期もありました。しかし、クラスメイトたちと互いに教え合いながら学習を進めることで、授業内容への理解が一層深まるだけでなく、学習そのものを楽しみながら取り組むことができるようになりました。

特に印象深かったのは、ゲストスピーカーや教授の実体験に基づく話を聞く機会が多くあったことです。これらの貴重な体験談を通じて、授業で学んだ理論的な内容を実際のビジネスシーンでどのように応用できるのかを具体的に理解することができました。ゲストスピーカーとして招かれた卒業生の方々は、それぞれ異なる企業で活躍されており、自身の豊富な経験を交えながら実践的なレクチャーをしてくださいました。こうした機会により、様々な業界に対する理解が深まっただけでなく、授業で習得した知識をどのように実践の場で活かすことができるのかを明確にイメージできるようになり、より深い学びへとつなげることができました。

スペイン語のクラスは、ディスカッション形式の少人数制スタイルの授業でした。そのため、グループワークを通じてクラスメイトと関わる機会が毎回の授業で設けられているだけでなく、教授との距離も非常に近く、いつでも気軽に質問しやすいクラスでした。

授業中はもちろんのこと、授業時間外にもオフィスアワーという制度が設けられており、疑問に思ったことがあればすぐに質問できる環境が整っていました。このような恵まれた学習環境のおかげで、比較的短い期間であっても、自分自身の成長を確実に実感することができました。

また、授業では皆でスペイン語の歌を歌ったり、ボキャブラリーや文法をチェックするゲームに取り組んだりする時間もありました。そのため楽しくスペイン語を学ぶことができ、毎日の授業が待ち遠しく感じられるようになりました。

ヨガや音楽のクラスは、アクティビティを中心とした授業スタイルでした。実際にヨガのポーズを取ったり、ボイストレーニングに取り組んだりすることで、それぞれの分野における基礎的な技術や知識を身につけることができました。

これらのアクティビティ中心のクラスにおいても、グループワークが多く取り入れられており、プロジェクトを一緒に進めるうちに、クラスメイトと親しくなれたことが何よりも嬉しかったです。

○現地での生活について

留学中、私はSDSUキャンパス内の学生寮で暮らしていました。私の寮は一人部屋でしたが、同じ建物、特に同じフロアの学生とはすぐに打ち解けることができました。友達の部屋に気軽に遊びに行ったり、エレベーターや共同キッチンでばったり会って話したりするうちに、自然と仲良くなり、授業後や週末と一緒に遊びに出かけたりすることもよくありました。

食事は健康と節約を考え、普段は自炊中心の生活を心がけていました。平日は一人で簡単な料理を作って食べ、週末は寮の共同キッチンで友人たちと集まって、おしゃべりしながら一緒に料理を楽しむことが習慣でした。

また友達と出かける際には、地元のレストラン巡りをすることが大きな楽しみのひとつでした。サンディエゴはメキシコに近いこともあり、本格的なメキシコ料理が特に豊富で、日本ではあまり馴染みのない味にもチャレンジすることができました。タコス、ブリトー、エンチラーダなど、異なる具材やスパイスの組み合わせを何度も楽しむうちに、いつしかメキシカン料理が大好きになりました。

他にもアメリカならではのダイナーや、アレンジが加えられた日本食など、友人たちとシェアしながら味わうことで、単なる食事以上に文化体験としての食の楽しみが深まりました。

大学では毎週のようにたくさんのイベントが開かれていて、特に学期の初めは毎週末がお祭りのようで、友達とイベントに参加することがとても楽しみになっていました。

キャンパスに遊園地のアトラクションが現れたり、たくさんのフードトラックが集まって世界中の料理が楽しめたりと、友達と参加できるイベントが盛りだくさんでとても嬉しかったです。

また、初めてイベントで会った人とは、共通の趣味や出身地の話題で会話が弾み、いつの間にかたくさんの友達を作ることができました。

サンディエゴ州立大学(SDSU)には、キャンパス内に地下駅のトロリー(グリーンライン)とバス停を備えた「SDSU Transit Center」があり、学生にとって非常に便利な交通インフラが整っていました。車がないと行きづらい場所もちろんありますが、トロリーや複数のバス路線を利用すれば、ほとんどの場所へは問題なく行くことができます。

キャンパス内にはミールプランという制度を利用することのできるお店やレストランがたくさんあるので、講義の合間やお腹が空いた時などにいつでも食事を摂ることができます。また、徒歩圏内にはTrader Joe'sがあり、寮暮らしの学生でも買い出しに困らず、自炊用の食材や日用品をいつでも購入できた点もとても便利だなと思いました。



(メキシカンレストランでの料理)



(La Jolla 海岸)

留学総括

この留学は、私にとってまさに挑戦と成長の一年でした。

慣れた環境を離れ、言語も文化も異なる土地で過ごす日々は、最初こそ緊張と不安が絶えずありました。しかし、日本とは違う大学の雰囲気や授業スタイルに圧倒されながらも、自らの殻を打ち破る小さな一歩——クラスで積極的に発言したり、知らない人に声をかけたり——が重なっていくうちに、次第に「新しいことを発見する楽しさ」や「できなかったことができるようになる喜

び」を実感できるようになりました。また、クラスメイトとのディスカッションなどを通して違う価値観や考え方に触れることで、物事を多角的に捉える力も身につけることができました。

この貴重な経験を通じて身につけた「一歩踏み出す勇気」を胸に、これからも未知の世界に恐れずに挑戦し続けたいと思います。